



HP Latex 126 インチ ロールトゥ フリー フォール キット ユーザー ガイド

概要

製品の使用方法です。

このエディションについて

© Copyright 2022 HP Development Company, L.P.

第 2 版、2022 年 8 月

法律に関する注記

ここに記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

HP 製品およびサービスの保証は、該当する製品およびサービスに付属する保証書の明示的な記載内容に限られます。本書中のいかなる記載も、付加的な保証を構成するものとして解釈されないものとします。弊社は、本書に含まれる技術上または編集上の誤りおよび欠落について、一切責任を負うものではありません。

安全に関する注記

操作と安全に関する指示をお読みになり、それらの指示に従ってプリンタを開始してください。

目次

1 はじめに	1
2 素材の設定	2
ロール紙の取り付け (ロールトゥ フリーフォール設定)	2
ロール紙の取り付け (コレクターへの巻き取り設定)	5
3 ハードウェア メンテナンス	8
ロールトゥ フリーフォール ローラーとピンチホイールをクリーニングする	8
ロールトゥ フリーフォール ローラーとピンチホイールをクリーニングするための準備	8
フリーフォールへの巻き取りローラーをクリーニングする	8
ピンチホイールのクリーニング	9
4 PrintCare の診断	11
作業担当者による診断 (HP Latex 1500 プリンタ)	11
作業担当者による診断 (HP Latex 2700 プリンタ シリーズ)	11
5 ロールトゥ フリーフォール システム エラーとアラート	12

1 はじめに

HP Latex 126 インチ ロールトゥ フリーフォールキットを使用すると、次のプリントをプリントしながらプリントの仕上げ処理を行うことができます。

短時間での作業や 1 回限りのジョブに適しており、ジョブを実行している間もプリンタの生産性を維持できます。ロールトゥ フリーフォール設定では、プリントがプリンタから排出されるとすぐにカットして取り出すことができるため、すばやく仕上げて納品することができます。

このアクセサリは、HP Latex 1500 プリンタおよび HP Latex 2700 プリンタ シリーズと互換性があります。

2 素材の設定

素材は、さまざまなニーズに合わせたさまざまな設定で取り付けることができます。

素材を取り付ける前に、Internal Print Server で、**[素材の取り付け/取り外し]**を選択し、使用する設定を選択します。

ロールトゥーフリーフォールキットを取り付けると、ロールトゥーフリーフォール設定を使用できます。

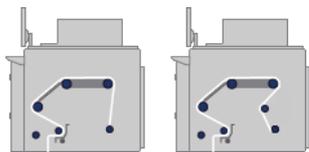
ロールトゥーフリーフォール設定は、プリンタから排出されるたびに1つまたは複数のプリントのカットと取り外しを行う場合に適しています。インプットロールとテンションローラーの間では素材のテンションが維持されますが、テンションローラーの後はテンションがなくなるため素材をカットできます。

ロール紙の取り付け(ロールトゥーフリーフォール設定)

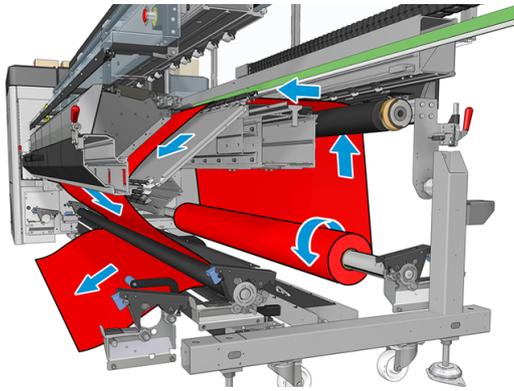
素材のロールはインプットスピンドルに取り付けて、印刷された素材は、プリンタの正面のフロアに排出されます。



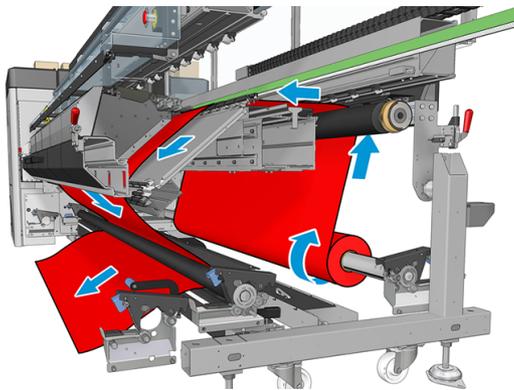
 **注記:** このビデオは、HP Latex 800、HP Latex 1500、HP Latex 2700 シリーズ、および HP Latex 3000 シリーズプリンタに適用されます。



素材はインプットスピンドルからメインローラー上、プラテン上、フロントダイバーター上を通過してテンションローラーに戻ります。その後素材はフロアへと続きます。



印刷面を内側または外側にして素材をスピンドルに取り付けることができます。その場合は、スピンドルが反対の方向を向きます。プリンタが巻き取り方向を自動的に検出できない場合は、巻き取り方向を尋ねるメッセージが表示されます。

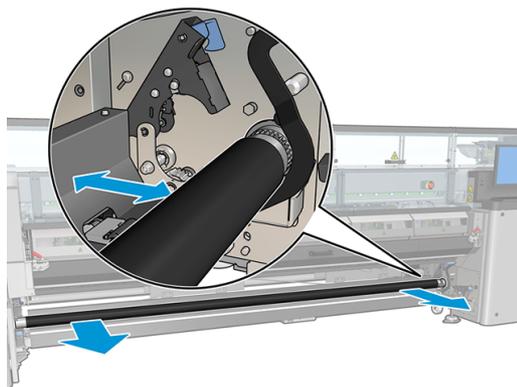


ロールをプリンタに取り付ける前に、ロールをインプットスピンドルに取り付けておく必要があります。プリンタのユーザーガイドのロール紙をスピンドルに取り付けるを参照してください。

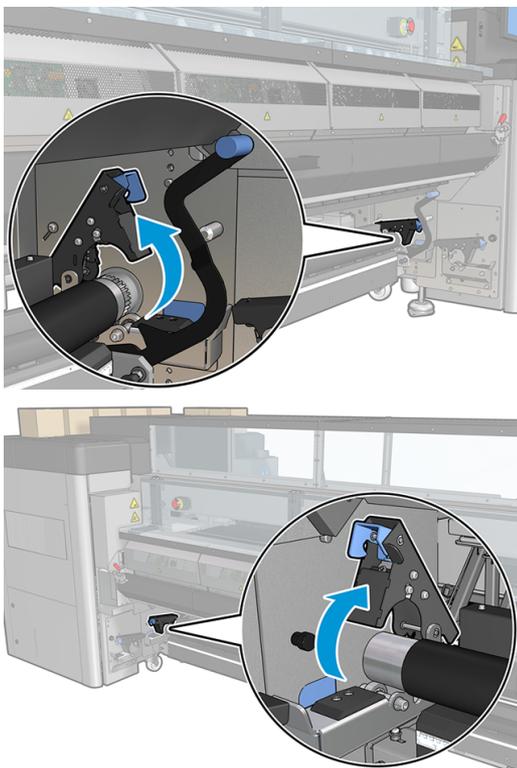
※ **ヒント:** スピンドル自体が非常に重い上に、素材のロールはそれよりもはるかに重いです。所定の位置に移動するには、フォークリフトなどの機器を使用することをお勧めします。フォークリフトなどの機器がない場合は、一方の端を持ち上げてプリンタに取り付けてから、もう一方の端を持ち上げてプリンタに取り付けます。

素材の取り付けは、アウトプットスピンドルが不要であること以外は、ロールへの巻き取り設定と同じ手順に従って行います。

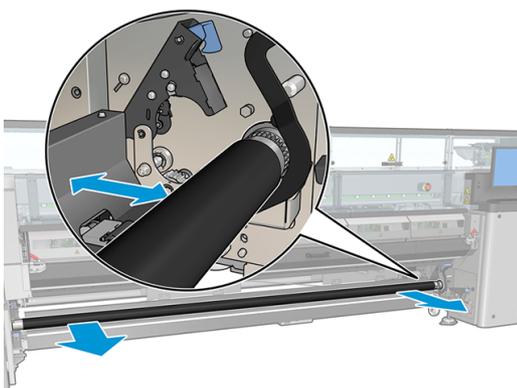
1. テンションローラーのレバーが上がっていることを確認します。



2. 両側のテンションローラーのラッチを外します。



3. ローラーを前面に移動し、素材を送ることができるようにローラーの背後に十分なスペースを空けます。

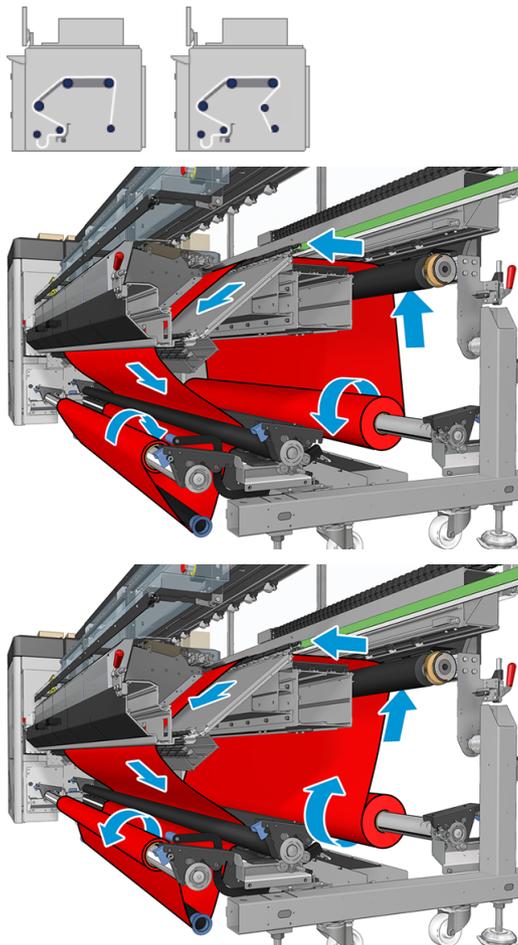


4. ローラーと下部後方にある黒色の素材ガイドとの間に指を挟まないように注意しながら、素材を送ってローラーを後方に戻します。
5. 両側のラッチを閉じます。
6. 素材の先端が、入力スピンドル上とテンションローラー上で同じ位置にあるかどうかを確認しながら、素材の位置を調整します。これは、スピンドルとテンションローラー上のルーラーを使用するか、右端から側面プレートまでの距離を測定することで行うことができます。
7. 素材のテンションが均一で平ら（しわや凹凸がない状態）であることを確認し、テンションローラーのレバーを閉じます。

8. ロール紙への巻き取り設定と同様に、Internal Print Server に移動し、**[完了]** ボタンをクリックするかタップします。

ロール紙の取り付け (コレクターへの巻き取り設定)

この設定は、ロールトゥフリーフォール設定に似ていますが、コレクターローラーとテンションバーを使用する点で異なります。



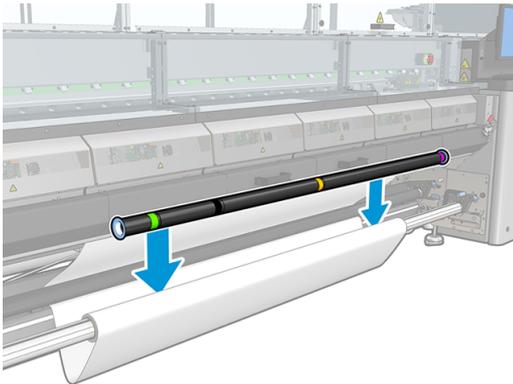
💡 ヒント : 印刷中はコレクターの取り付けや取り外しをしないでください。

素材の取り付けを開始する前に、素材の幅に合うように正しい長さのテンションバーを選択します。次のチューブが提供されているため、さまざまな長さのテンションバーを作成できます。

- 152mm のチューブ 1 つ
- 203mm のチューブ 2 つ
- 305mm のチューブ 1 つ
- 610mm のチューブ 1 つ
- 1067mm のチューブ 2 つ
- プリント中のテンションバーの横移動を避けるために両端に付けるエンドフランジ 2 つ

たとえば、次のテンションバーを作成できます。

- 914mm: 610mm チューブと 305mm チューブ
 - 1016mm: 610mm チューブ 1つと 203mm チューブ 2つ
 - 1270mm: 1067mm チューブと 203mm チューブ
 - 1372mm: 1067mm チューブと 305mm チューブ
 - 1524mm: 1067mm、305mm、および 152mm チューブ
 - 1829mm: 1067mm、610mm、および 152mm チューブ
 - 1981mm: 1067mm チューブ 1つ、610mm チューブ 1つ、152mm チューブ 2つ
 - 2032mm: 1067mm、610mm、203mm、および 152mm チューブ
 - 2489mm : 1067mm、203mm、および 152mm チューブ 2つ
 - 2642mm : 1067mm、305mm、および 203mm チューブ 2つ
 - 3200mm : 1067mm、610mm、305mm、および 152mm チューブ 2つ
1. ロールトゥーフリーフォール設定の取り付け手順全体に従います。
 2. 空の素材の芯をアウトプット スピンドルに取り付けます。デュアルロール印刷の場合は、同じ直径の 2つの芯を 1つのスピンドルに取り付けます (デュアルロール スピンドルをコレクターに使用することはお勧めしません)。
 3. Internal Print Server のボタンを使用して、コレクターの芯に達するまで素材の先端を送ります。
 4. 素材が等しく張られるように素材をピンと張ります。次に、中央、両端の順に、先端を芯にテーピングします。素材にしわや緩みがないようにします。
 5. Internal Print Server のボタンを再度使用して、素材ループがテンション ローラーとコレクターの間に生成されるように素材を送ります。
 6. テンションバーを素材ループに置きます。



注記 : プリンタの中心ではループ検出が実行されるため、中心にあるコレクターの下に足や物を置かないでください。

7. Internal Print Server に移動し、**[コレクターの有効化]** ボタン (HP Latex 1500 の場合) をクリックするか、**[巻き取りリール]** ボタン (HP Latex 2700 シリーズの場合) をタップします。
8. 巻き取り方向を選択します。**[外側]** をお勧めします。これを選択すると、最大直径 300mm のアウトプット ロールが可能です。**[内側]** を選択した場合、アウトプット ロールの直径は 200mm に制限されます。太いロール紙の場合、テンションバーがロールに触れ始めます。

 **注記** : 巻き取り方向をオンザフライで変更することはできません。コレクターを無効にしてから再度有効にする必要があります。

9. **[完了]** ボタンをクリックまたはタップします。

これでプリンタの印刷準備ができました。

3 ハードウェア メンテナンス

以下のセクションでは、このトピックについて詳しく説明します。

ロールトゥーフリーフォールローラーとピンチホイールをクリーニングする

ロールトゥーフリーフォールローラーは、素材送りが円滑ではなく定常的ではないという表示が出たとき(素材のテンションを保持しようとするローラーが滑ることが多い場合など)、または汚れが見えるとき(ローラーの使用時にインクが適切に硬化していない場合など)は常に、クリーニングする必要があります。



火傷の恐れ



損傷の危険



指が巻き込まれる危険

安全性の詳細については、プリンタのユーザーガイドで**安全に関する注意事項**を参照してください。

ロールトゥーフリーフォールローラーとピンチホイールをクリーニングするための準備

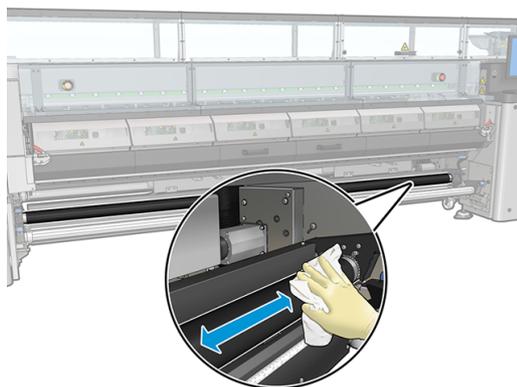
以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

1. プリンタで印刷が行われていないことを確認します。
2. 素材を取り外します。
3. 加圧ローラーのレバーが下がっている場合は、加圧ローラーのレバーを上げます。

フリーフォールへの巻き取りローラーをクリーニングする

以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

1. 水で湿らせたきれいな布でローラーをクリーニングします (ひどい汚れにはイソプロピルアルコールを使用できますが、石油系のクリーニング溶液は使用しないでください)。



2. ローラーを手動で回転させて、ゴム製の表面全体がきれいになるまでクリーニングします。

⚠ 警告! ローラーを回転させるときに指を挟まないように注意してください。

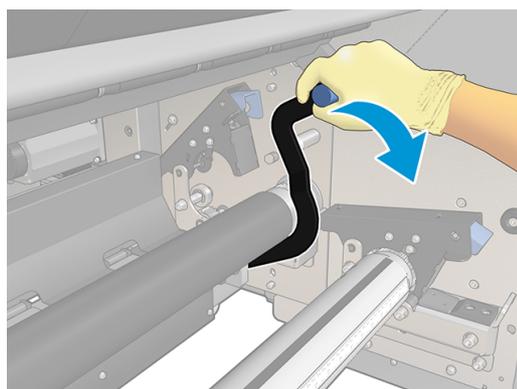


3. クリーニングした部分が完全に乾いており、蒸気が完全に蒸発していることを確認します。

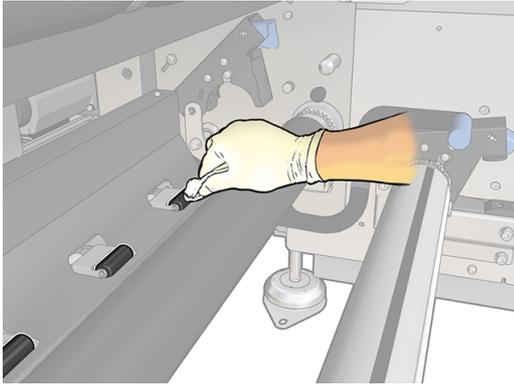
ピンチホイールのクリーニング

以下の手順では、このトピックの詳細な手順について説明します。

1. 両側のローラー ラッチを開き、ローラーを前面に移動します。
2. 加圧ローラーのレバーを下げ、ピンチホイールに手が届くようにします。



3. 水で湿らせた布でピンチホイールを慎重にクリーニングします(ひどい汚れにはイソプロピルアルコールを使用できますが、石油系のクリーニング溶液は使用しないでください)。



4. ピンチホイールがきれいになったら、加圧ローラーのレバーを上げます。
5. ローラーを押して(つかまないでください)後ろに回転させます。

⚠ 警告! 特に、ローラーを後ろに回すときは、ローラーの下部後方にある黒色の素材ガイドに指をぶつけないように注意してください。



6. ローラーを所定の位置に戻したら、両側のラッチを閉じます。
7. クリーニングした部分が完全に乾いており、蒸気が完全に蒸発していることを確認します。

4 PrintCare の診断

以下のセクションでは、このトピックについて詳しく説明します。

作業担当者による診断 (HP Latex 1500 プリンタ)

これらの診断は、ロールトゥフリーフォールキットが取り付けられている場合のみ実行できます。

表 4-1 ロールトゥフリーフォールキット

アラート	推奨
41011 電子機器の確認	この診断では、キット内の電子部品との接続を確認できます。
41012 センサーの確認	この診断では、キットに含まれているセンサーのステータス(テンションローラーラッチ、テンションローラーレバー、素材コレクターセンサー)を確認できます。
41013 MF および M0 モーターの確認	この診断では、素材フロアモーターと素材アウトプットモーターを自動チェックします。

作業担当者による診断 (HP Latex 2700 プリンタ シリーズ)

これらの診断は、ロールトゥフリーフォールキットが取り付けられている場合のみ実行できます。

表 4-2 ロールトゥフリーフォールキット

アラート	推奨
41102 電子機器の確認	この診断では、ロールトゥフリーフォールキットが機能するために必要な電子接続を確認します。 <ul style="list-style-type: none">電源ユニット 1 (PSU 1) が範囲内である。PSU 1 のヒューズが動作している。電気制御ボックスインターコネクト PCA への接続が機能している。
41103 センサーの確認	この診断テストでは、次のセンサーが正しく動作していることを確認します。 <ul style="list-style-type: none">取り付けテーブルラッチセンサー巻き取りリールセンサーピンチレバースイッチセンサー ラッチとレバーを引いたときと押したとき、素材コレクターセンサーをブロックしたときとブロック解除したときのセンサーのパフォーマンスが確認されます。センサーが正しく機能している場合、センサーステータスが変化します。
41104 メディアフロアモーターの確認	この診断では、素材フロアモーターと素材フロントモーターの方向テストを実行します。

5 ロールトゥーフリーフォールシステム エラーとアラート

状況によっては、Internal Print Server に数字のエラー コードが表示されます。以下の推奨事項に従ってエラーを解決してください。

ここに示されているエラー コードは、プリンタの主なドキュメントに記載されているエラー コードを補足するものです。どちらのリストにもないエラー コードが表示された場合は、プリンタの電源をいったんオフにし、再びオンにしてください。問題が解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください。

HP Latex 1500 プリンタのシステムエラーとアラート

エラー	推奨
10.04.12:10 電子制御キャビネットの MF ヒューズが飛びました	電気制御キャビネット PCA 内の素材フロア モーター 42V のヒューズ (F11) が飛びました。サブシステムまたは電源ケーブルがショートしている可能性があります。新しい F11 ヒューズを取り付けてください。問題が解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください。
10.05.12:40 電気制御キャビネットの MF 電源出力に過負荷がかかっています	電気制御キャビネット PCA 内の素材フロア モーター 42V のスイッチに過負荷がかかっています。サブシステムまたは電源ケーブルがショートしている可能性があります。プリンタを再起動してください。問題が解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください。
41.05.00:51 ピンチ ホイールが上がっています	(テンション ローラー レバーを使用して) ピンチ バーが下がっていることを確認します。問題が解決しない場合、センサー確認診断 (41012) を実行してセンサーが機能しているかどうかを確認します。機能していない場合は、サポートに連絡してください。
41.05.01:51 テンション ローラー ラッチが開いています	両端にあるテンション ローラー ラッチを閉じます。適切に閉じていることを確認します。問題が解決しない場合、センサー確認診断 (41012) を実行してセンサーが機能しているかどうかを確認します。機能していない場合は、サポートに連絡してください。
41.05.00:61 テンション ローラーが動きません	問題が解決しない場合、素材を取り付け直して、モーター診断 (41013) を実行してください。
41.10.01:08 巻き取りリールが詰まっている可能性があります。光センサーにより素材が検出されません	素材コレクター センサーが正しく動作していることと、センサーの視界を妨げるものがないことを確認します。問題が解決しない場合、センサー確認診断 (41012) を実行してセンサーが機能しているかどうかを確認します。機能していない場合は、サポートに連絡してください。

HP Latex 2700 プリンタ シリーズのシステムエラーとアラート

エラー	推奨
0010-0012-1215 電気制御キャビネットの M0/MF ヒューズが飛びました	電気制御キャビネット PCA 内の素材フロア モーター 42V のヒューズ (F12) が飛びました。サブシステムまたは電源ケーブルがショートしている可能性があります。新しい F12 ヒューズを取り付けてください。問題が解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください。
1041-0006-0359 MF モーター サーボがシャットダウンしました	素材送りモーター サーボがシャットダウンしました。システムで紙詰まりが発生しているか、モーターまたはエンコーダに関する問題が発生している可能性があります。問題が解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください。

エラー	推奨
1041-0006-0360 MF モーターの方向テストに失敗しました	プリンタの起動中に、素材フロア モーターが動くことができません。これは、モーターまたはエンコーダの不具合が原因で発生している可能性があります。問題が解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください。
1041-0010-0008 TUR センサーの詰まりが検出されました	素材コレクター センサーが正しく動作していることと、センサーの視界を妨げるものがないことを確認します。問題が解決しない場合、センサー確認診断 (41012) を実行してセンサーが機能していることを確認します。機能していない場合は、サポートに連絡してください。
1041-0010-0009 TUR センサーが電気制御ボックスインターコネクト PCA に接続されていません	電気制御ボックスインターコネクト PCA の J49 コネクタに TUR センサー ケーブルが正しく接続されていることを確認します。問題が解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください。
1041-0013-0009 RTFF スイッチが電気制御ボックスインターコネクト PCA に接続されていません	ロールトゥーフリーフォールスイッチのセンサーケーブルが、電気制御ボックスインターコネクト PCA の J32 コネクタに正しく接続されていることを確認します。問題が解決しない場合は、サービス担当者に連絡してください。